

日语综合阅读文选

日本文学

2

科学技术文献出版社重庆分社

# 日语综合阅读文选

2

向帝北 编注  
高可夫 审校

科学技术文献出版社重庆分社

## 日语综合阅读文选 2

向帝北 编注

高可夫 审校

责任编辑 陈方

---

科学技术文献出版社重庆分社出版  
重庆市市中区胜利路132号

新华书店重庆发行所发行  
中国科学技术情报研究所重庆分所印刷厂 印刷

---

开本：787×1092毫米 1/32 印张：4.375 字数：9.5万

1988年6月第1版 1988年5月第1次印刷

印数：1-3700

---

ISBN 7-5023-0181-X/G·28 定价：1.10元

## 前　　言

阅读是学习语言的重要手段之一，也是提高听、说、写等语言技能的基础。因此，必须通过大量阅读实践来培养阅读能力。

为了向广大日语学习者提供一套辅助阅读材料，我们从日本中小学教材和其他原版书刊中精选出范文85篇，汇编成这套《日语综合阅读文选》，并由浅入深，分四册加注出版。内容包括科普和新技术48篇，日常生活和文化生活21篇，故事3篇，其他13篇。文章短小精练，语言规范，题材新颖，内容广泛；知识性、趣味性强；疑难点均有详细注释。各册附有词汇表，供读者查阅。

本《文选》适用于高等院校非日语专业本科生、研究生和广大日语学习者作泛读材料或快速阅读材料。

本《文选》在编注过程中承蒙四川外语学院日语系热情提供资料，在此表示诚挚的谢意。

由于编者水平有限，书中可能有不妥或错误处，恳请读者批评指正。

编　　者 1987.1

## 目 录

- |                       |      |
|-----------------------|------|
| 一、人間の偉大な力.....        | (1)  |
| 人类的伟大力量               |      |
| 二、エジソンものがたり.....      | (6)  |
| 爱迪生的故事                |      |
| 三、本をどう読むか.....        | (11) |
| 怎样读书                  |      |
| 四、アルキメデスの原理.....      | (15) |
| 阿基米德定理                |      |
| 五、物質の性質の探究.....       | (21) |
| 物质性质的探求               |      |
| 六、わたしたちと自然.....       | (26) |
| 我们与自然                 |      |
| 七、ありの行列.....          | (31) |
| 蚂蚁的行列                 |      |
| 八、低温と高温.....          | (36) |
| 低温与高温                 |      |
| 九、すずしい住まいと楽しい住まい..... | (40) |
| 凉爽、舒适的住所              |      |
| 十、新しい美しさ.....         | (45) |
| 新的美                   |      |
| 十一、いろいろな道.....        | (50) |
| 各种各样的路                |      |
| 十二、町と子どもたち.....       | (54) |
| 城镇与孩子们                |      |

十三、火事	(59)
火灾	
十四、けんこうをまもるしくみ	(65)
保健组织	
十五、すべて新聞紙	(69)
扔了的报纸	
十六、手紙	(73)
一封信	
十七、人間は言葉を使う	(77)
人类使用语言	
十八、「着る」	(82)
穿戴的说法	
十九、時計とは何か	(86)
钟表是什么?	
二十、基礎科学の重要性	(89)
基础科学的重要性	
词汇表	(95)

## 一 人間の偉大な力

人間は自分自身の力、つまり人によって①いろいろな仕事をしました。そのなかには現代の機械を用いても②、むずかしいような③大きな仕事もあります④。ピラミッド⑥の建設がその一つです。

ピラミッドは、古代エジプト⑧の王さまの墓です。いま70あまり⑦残っていますが⑧、そのうちで⑨いちばん大きいのは⑩、紀元前2800年ごろに建設されたクフ⑪王のピラミッドです。高さ147m、底辺の一辺の長さが230mもある大きな石の建造物で⑬、5~7トンぐらい⑭の四角い石を250万個も積みあげています⑮。これをつくるのに⑯、10万人の人たちが1年に3ヵ月ずつ⑰20年間も働きました。⑯作業は、ぜんぶ手仕事です。石は、ナイル川の上流から、のみとくさび⑯を使って切りだし、これを船にのせて運びます。建築現場では、そりにのせて、砂の坂道を引っぱりあげ⑯、だんだん高く積みあげたのです⑲。働いていたのは、大せいの農民たちでした。毎年、ナイル川が洪水をおどすと⑳、畑仕事ができません。そのあいだ、ピラミッドづくりに㉑出て、食物などをもらったのです。

わたしたちの先祖は、仕事をするのに必要な力を、わたしたち人間やほかの動物、水、風など自然のなかにあるものにたよっていました。㉒そういう自然のなかにある力を有効に使うために、いろいろな工夫をかさね、てこやころ、弓、車輪、歎車、帆などを考えだしました㉓。

重い石を動かすときには、丸太をころにして㉔石の下

におき、動きやすくしました①、重い石を持ちあげるときは、棒をてこにして持ちあげました。こうして、できるだけすぐない力で、大きな仕事をしようとしたのです②。やがて、かつ車とまきあげ機③が発明され、さらに大きな仕事ができるようになりました④。

私たち人類は、自然の力いがいの力を使うようになってから、まだ200年ほどしかたっていません⑤。わたしたちは、自然の力をを利用して、生きてきたといえる⑥のです。

### 注　釋

① 体言+“によって……”(惯用型)，表示行为的方法、手段，意为“用……、依靠……”等。

② 动词连用形+“ても……”(接续助词)，表示假定的逆接条件，译作“即使……，也……；纵然……，也……；无论……也……”。

③ 用言连体形、体言+“の”+“ような……”，其中“のような”为比况助动词“ようだ”的连体形，作连体修饰语，意为“像……那样的；……之類的……”，有时视情况可不译。

④ “そのなかには現代の機械を用いても、むずかしいような大きな仕事もあります”。译为“其中有些宏伟的工程，即使采用现代机械似乎也难于完成”。“その……”指前句“……仕事”。

⑤ “ピラミッド”(名词)金字塔。

⑥ “エジプト”(国名)埃及。

⑦ “数量词あまり”意为“……多，……余”，其中“あまり”为造语，接在数量词后，表示“多、余”之意。

⑧ “が”(接续助词)此处表示顺态接续，可不译。

⑨ “そのうちで”译作“其中”。“で”为格助词，表示范

围，相当于“在”。

⑩ “のは”，“の”为形式体言，在此处指代ピラミッド，后续提示助词は，作主语。

⑪ “クフ”（人名）胡夫。

⑫ “も”（提示助词），接在表示数量的体言之后，表示数量之大，程度之高。可译为“竟达”等。

⑬ “で”是断定助动词“だ”的连用形，表示中顿。

⑭ “ぐらい”（副助词），接在表示数量的体言之后，表示数量上的估计，可译为“大约，左右”等。

⑮ “高さ147m，底辺の……で，……も積みあげています。”全句可译为“那是一座高147m，底座每边之长度达230m的巨大石造建筑物；是用250多万块，重约5~7吨的方块石料砌成的。”句首省去了主语“それは”，动词“積みあげています”不表示动作的进行态，属存在体，表示动作完成后，其结果依然存在至今。

⑯ “のに”，“の”为形式体言，“に”是补格助词。“のに”意为“为了……，为要……”。

⑰ 数词或程度副词+“ずつ”，“ずつ”为副助词，意为“各、每”，表示平均或相同数量的重复。

⑱ “これをつくるのに，……20年間も働きました。”可译为“为修造这座金字塔，10万人每年工作三个月，共劳动了二十年之久。”

⑲ “のみとくさび”，凿子和楔子。

⑳ “そりにのせて，砂の坂道を引っぱりあげ……”可译为“装在爬犁上，从沙坡上向上拉……”。其中“を”表示经过的场所，为后续动词的补语。

㉑ “だんだん高く積みあげたのです”意为“……渐渐

砌高的”。“のです”作为谓语附加成份，接在谓语后，如系第三三人称时，表示对该人或该事物的说明或论断。翻译时只要表达出肯定、论断的语气即可。

㉒ “と”(接续助词)，意为“一……，就……”。

㉓ “づくり”(造语)意为“建造……”。

㉔ “わたしたちの先祖は，仕事をするのに必要な力を，……ものにたよっていました。”可译为：“我们的祖先做工所需之力靠的是我们人类以及其它动物、水、风等自然界中所蕴藏的力。”“のに必要な力……”，“の”为形式体言，“に”是补格助词，表示目的，作“必要だ”的补语。“……を……にたよっていました”(句型)意为“藉助于……来解决……”。“たよる”本为自动词，一般用“……にたよる”的表达方式，意为“依靠…”，“借助…”。

㉕ “そういう自然のなかにある力を有効に使うために，いろいろな工夫をかさね，てこやころ，……などを考えだしました。”可译为“为了有效地利用自然中蕴藏的这种力，人们反复琢磨，终于想出了撬杠以及滚杠……等。”“そういう”(连体)，意为“那样的”，修饰“力”；“ために”意为“为了……”，作连用修饰语；“工夫をかさねる”(词组)，意为“反复钻研，动脑筋，想办法”；“工夫”(名词)，意为“钻研，想办法”。

㉖ “丸太をころにして”意为“把原木当作滚杠。”作连用修饰语，修饰下位动词“おき”。

㉗ “……を動きやすくする”意为“使…容易移动”，“動き”是“動く”的连用形；“やすく”是“易い”的连用形。由动词连用形+形容词“やすい”，构成复合形容词，意思是“易于……”。形容词连用形(く)+“する”，可看做是一个合成的动词，如“……を多くする”(增多)，“……を少くする”(减少)

……），此处是形容词连用形“動きやすく+する”。

㉙ “こうして、”できるだけすくない力で、大きな仕事をしようとしたのです。”意为“人们就这样希望用尽可能小的力气来做繁重的工作的。”“こうして”意为“如此，这样”，“这样一来”。“できるだけ”（词组）意为“尽量，尽可能”。“ようとした”意为“要……，欲想……”，其中“よう”为推量助动词，前接五段以外的各类动词未然形，表意志。“した”是“する”的过去时。“……のです”是谓语补语成份，在此表示论断的语气。

㉚ “まきあげ機”（名词）卷扬机，提升绞车。

㉛ 动词连体形+“ようになる”（句型）表示事物的能力或状态、情况由此及彼的转变，相当于“变得……；能够……了”。

㉜ 句中“いがい”（名词）以外，除……之外，常与其它体言一起组成复合名词。“动词连用形てから”，表示“…之后”；“…以来”。“ほど”为副助词，接表示数量的体言之后，表示大约的估计，可译为“左右、差不多”等。“しかたっていません”意为“只经过……”，其中“しか”为提示助词，必须与否定语相呼应，“只、仅”之意。“たっていません”是“经つ”的进行式敬体否定形式。

㉝ “……といえる”意为“可以说……”，“と”为格助词，表示称谓的内容。

## 二 エジソンものがたり

エジソンは、せかいで①はじめて②、電とうを発明した人です。

電とうのほかにも、ちくおんき、電しんき、えいしゃきなど、おおくの発明をして、いまのわたしたちのくらしに、たいへんやくだつしごとを、なしとげました③。

このように、りっぱなしごとをしたエジソンも、子どものころは、ずいぶん、いたずらで、学校のせいせきもわるいほうでした④。先生のおしえも、よくきかないで⑤、むやみに、先生にしつもんをして、先生をこまらせ⑥たりしました⑦。こんなふうでしたから⑧、とうとう、学校をやめてしまわなければならなくなりました⑨。おかあさんは、たいへんしんぱいし、じぶんで、エジソンに、べんきょうをおしえることにしました⑩。

エジソンは、小さいときから、何を見ても、すぐにふしぎに思い、なんでも、じぶんで、それを、ためしてみなければ気がすまないのでした⑪。がちょうのたまごを、じぶんであたためて、かえそうとした⑫話は、よく、知られています。

九才のとき、おかあさんに、りかのじっけんの本をいただいてからは、じっけんに、むちゅうになりました⑬。

おこづかいも、じっけんのためにつかい、家の地下しつには、じっけん用のくすりが、ずらりとならぶようになりました⑭。

十一才のときには、電しんきのもけいをつくって、き

んじょの友だちとつうしんすることができました<sup>⑯</sup>。しかし、エジソンは、こんどは、ほんものの實しんきを、つくりたくなりました<sup>⑰</sup>。

これには、お金がいりますので、友だちと、ひと夏かかるって<sup>⑯</sup>、やさいをうりあるきました。また、汽車の中のうりこになって、お金をもうけようとしたしました。うりこをしているあいだに、汽車の中で、じっけんをして<sup>⑯</sup>、火事をおこしかけた<sup>⑯</sup>こともありました<sup>⑰</sup>。それから、しんぶんをいんさつして、うつたりもしました。

こうして<sup>⑯</sup>、もうけたお金で、いろいろなじっけんをつづけたのです。夜、ねる時間もおしんで<sup>⑯</sup>、いっしょにけんめいに、はたらきました。

二十一才のとき、発明家として、ひとりだちで、しごとができるようになりましたが、そのご<sup>⑯</sup>、一千いじょうの、発明をして、せかいじゅうの人から、発明王とよばれ、天才として、そんけいされました<sup>⑯</sup>。

エジソンは、「天才というのは九十九のどりょくと、一つの思いつきからできている<sup>⑯</sup>。」といふことをいっています。

このことばのとおり<sup>⑯</sup>、エジソンは一生がい、よの中をよくするために、力をつくした人です<sup>⑯</sup>。

### 注　釋

① “で”（补格助词）表示范围，意为“在……”。

② “はじめて”（副词）意为“首先，第一个”。

③ 句中“ほかにも”（连语）意为“除…外还……”。“やくだつ”（役立つ）（自五），意为“有用；有益于……”。“なしと

げる”（他下一）“完成…，做完……”

④ 句中“このように”意为“这样”。“で”是断定助动词“です”的连用形，表示中顿。“ほうでした”前接用言连体形，表示比较，意为“……算是……”。其中“ほう”是形式体言。

⑤“ないで”，其中“ない”是否定助动词；“で”是接续助词“て”的例外用法（即：接在“ない”的终止形后，“て”要浊音化），构成连用修饰语，说明某种动作是如何进行的，可译为“不……，而……”。

⑥ “こまらせ”是“こまる”的使役态，意为“使…为难”。

⑦ 用言连用形“たりしました”是“たりする”的过去时，表示举一动作为例，言外暗示其它类似的动作，相当于汉语“……等等；……什么的”。

⑧ “ふう”（名词）意为“样子、状况”。“こんなふうでしたから，”，意为“这样一来”。

⑨ “学校をやめてしまわなければならなくなりました”，可译为“不得不退学”。

⑩ “……ことにしました”前接动词连体形，表示主观上作出某一决定，译为“决定……”。

⑪ 句中“なんでも”（副词）意为“无论什么，一切”。“気がすまない”（词组）意为“心里不安、过意不去、心情不平静”。“……のでした”接在谓语后，在此表示对第三者性格的论断。

⑫ “……うとした”是“うとする”之过去时，接在五段动词未然形后，在此表示意志，意为“想……；要……”，句中“……かえそうとした話は、よく知られています。”可译为“想孵化……的传说已广为人知”。

⑬ “てからは”接在动词连用形后，意为“……之后”，

“……に……をいただく”意为“从……处获得……”，  
“……にむちゅうになりました”（词组）意为“热衷于……，……着了迷”。

(14) 见第一课注⑩。本句“じっけん用のくすりが、ずらりとならぶようになりました”，可译为“摆起了成排的实验用的药品”。

(15) 用肯定连体形+“ことができる”构成可能态，意为“能……，可以……”。

(16) “……つくりたくなりました”可译为“开始想制造……了”，“たく”是愿望助动词“たい”的连用形，接在动词连用形后，表示“想……，欲……”。

(17) “ひと夏かかって”意为“(花)一个夏天……”。“かかって”是“かかる”的连接式，在句中作连用修饰语。

(18) “て”(接续助词)，接在动词连用形后，此处表示原因。

(19) “おこしかけた”是“おこしかける”之过去时，意为“即将引起…；险些引起…”。“かける”是接尾词，接在动词连用形后，在此表示“即将发生……”。

(20) “……こともありました”是“こともある”的敬体过去时，接在动词过去时后，可译为“也曾……”。

(21) 见第一课注⑧。

(22) “ねる時間をおしんで”，意为“牺牲睡眠时间”，作后续动词的连用修饰语。“おしむ”(他五)，意为“爱惜”，珍惜”。

(23) “そのご”(副词)意为“以后，其后”。

(24) “……から、……とよばれ、……そんけいされました”，其中“から”是补格助词，表示被动态动词之行为主体；“と”是补格助词，表称谓；“よばれ”和“そんけいされ

ました”均为被动态动词。

㉕ 「天才」というのは九十九のどりょくと、一つの思いつきからできている」可译为“天才是百分之一的灵感，百分之九十九的血汗”。句中“……というのは”（惯用型）意为“所谓……”。“……からできている”意为“由……组成”。

㉖ “体言+の、动词连体形とおり”意为“如…样”。如“このことばのとおり”表示“正如此话所表明的那样”。

㉗ “……一生がい、よの中をよくするために、力をつくした人です”可译为“……他毕生都是在竭尽全力地为造福人类而工作”。句中“よの中”意为“社会、世间”。

### 三 本をどう読むか

あなたは、今、本を読むのに①どんな読み方をしていますか。

本というものは、必要な知識を時に手軽に与えてくれます②。それだけに、読みとばしたり、早のみこみをしたりする読み方をしがちなものです③。

しかし、知識を本当に身につけようと思うなら、筆者の問い合わせの前で立ち止まり立ち止まりしつつ、自分で先を考えながら読み進めてください④。わたしたちが、本からではなく⑤、自分の体験を通して何かを知りたいというときには、そのようにしていくものです⑥。途中で立ち止まりながら読むということは、自問自答の形で⑦、知識を自分で「発現」していくことになるのです⑧。それは、あなたの考える力を育てることにもなり、そのようにして得た知識こそ⑨が、本当に身につくものとなるのです⑩。ことに、筆者の考え方については、あなた自身のそれと比べつつ読むことを勧めます⑪。本から得た知識は、いつか古くなることがあっても考えながら読んで得た力は、いつまでも生きて働くものとなるでしょう。

後で改めて考えるための手がかりとして⑫、本の余白に書きこみをしたり、ノートにメモを取ったり、抜き書きしたり、場合によっては読書記録にまとめたりするのもいいでしょう。

こうした積極的な読み方の中から、新しい問い合わせが生ま